序章　景観形成の考え方

第１節　景観形成の意義

景観とは？

景観は、海・山・川・田園などの自然や、建物・道路・公園等の人工物といった「形あるもの」だけでなく、これまで育まれてきた文化や歴史のあるまちのたたずまいといった都市の「印象」など、様々なもので構成されています。つまり景観は「目に映るまちの姿だけでなく、見る人が感じ取る印象も含めた幅広いもの」ということができます。

景観形成とは？

良好な景観は、人々の長い時間をかけた生活の営みや努力の積み重ねにより形成されます。景観形成とは、これらの育まれてきた地域固有の特性を活かし、大切な財産として維持・継承し、さらに新しく創出していく一連の取り組みを指します。本計画では、特に新しく創出するものについて、重点的に取り組みます。そのため、良好な景観の形成には、市民一人一人が、身の回りの景観づくりを意識して、持続的に取り組んでいくことが必要です。

景観形成の意義！

延岡市の豊かな自然や歴史的なたたずまいを保全することや、美しく調和のとれたまちなみづくりなどの景観形成を進めることは、市民の地域に対する愛着や誇りを育むことにつながります。また、人々の「住んでよかった、訪ねてよかった」という共感を呼び、本市の魅力を向上させ、観光や交流を促進することが期待されます。

さらに、景観づくりの取り組みを通じて、コミュニティの形成や市民活動の活性化などにもつながります。

第２節　景観計画の構成

延岡市の景観の魅力や問題点を分析することにより、課題を導き出しました。それを踏まえたうえで目標及び方針を設定し、各種施策を推進します。

延岡景観の魅力 (P6)

○五ヶ瀬川・大瀬川等の複数の河川が流れるまちなかの景観

○まちなかにある工場の景観

○城山などの身近な歴史・文化的景観

○清流、北川・祝子川・五ヶ瀬川・大瀬川などの河川の景観

○市街地に近接した長浜海岸や日豊海岸国定公園などの特徴的な海岸・海浜景観

○市街地を包み込む、祖母傾国定公園等の雄大な山紫水明の山地景観

○周辺の山なみや河川と調和した美しい田園景観

○河川・海沿いを走る国道や JR 日豊本線からの情緒ある車窓景観

○市民による自主的な景観づくり

問題点 (P11)

○周辺と調和しない建築物等の増加

○まちなかのにぎわい感の減少

○まちなかの緑の減少

○城下町の風情など延岡らしさの核となる歴史・文化的景観資源の減少

○公共施設のデザインが統一されていない

○景観に対する意識の醸成が十分でない

課　題 (P12)

○五ヶ瀬川・大瀬川の雄大な河川景観と調和したまちなか景観づくりが必要。

○潤いのある緑豊かなまちなか景観づくりが必要。

○中心市街地にふさわしい、まとまりとにぎわいのある、景観づくりが必要。

○周辺市街地と調和した潤いと落着きのある大規模工場地の景観づくりが必要。

○市の玄関口に相応しい魅力ある沿道景観づくりが必要。

○延岡らしい景観づくりの核となる歴史・文化的景観資源の保全・活用が必要。

○日豊海岸国定公園をはじめとした美しい海岸・海浜景観の保全が必要。

○田園・河川景観の保全が必要。

○祖母傾国定公園をはじめとした、良好な山地景観の保全が必要。

○市民による自主的な景観づくりの動きを、全市的な動きに拡大していくことが必要。

○本市の良好な景観づくりを牽引する手本となるような、公共施設の景観づくりが必要。

目標

清流が育んだ歴史・産業が織り成す〝水郷のべおかの景観〟づくり

基本方針 (P14)

まちなみ

多様な資源が織り成す延岡固有のまちなみを、住む人にとっても訪れる人にとっても心地よく感じられるよう、更なる魅力向上に努めます！

歴史文化

時代を超えて守るべき景観の保全・育成に努め、地域の生活文化や歴史的な景観を育んでいきます！

自然

延岡の風土を育む海山川の織り成す景観を保全し、後世に豊かな自然景観を継承します！

協働

延岡の景観における特徴や魅力を学び、守り、つくり、伝え、郷土への愛着心と誇りを育みながら協働で景観づくりを推進していきます！

景観構造別景観形成方針 (P16)

景観計画の区域は全市域とします。

中心市街地景観ゾーン	魅力的でにぎわいのあるまちなみ景観づくり
一般市街地景観ゾーン	潤いのある緑豊かな市街地景観づくり
工場地景観ゾーン	延岡固有の工場景観を活かした魅力的なテクノスケープづくり
幹線道路景観軸	まちなみ、山なみと調和した沿道景観づくり
河川景観軸	”水郷のべおか“にふさわしい河川景観づくり
田園景観ゾーン	周辺の山なみや河川景観と調和する美しい田園景観づくり
山地景観ゾーン	山地・渓谷など多彩な表情を見せる雄大な山地景観の保全、及び自然とのふれあいの場となる景観づくり
海岸･海浜景観ゾーン	変化に富んだリアス式の美しい海岸・海浜景観の保全、及び交流の場となる景観づくり

景観形成重点地区の景観形成方針 (P25)

城山周辺地区	城山の歴史や自然と調和した、落ち着きと風格のある城下町景観づくり
シンボルロード周辺地区	背景の城山と調和した、魅力と賑わいのあるまちなか景観づくり

良好な景観形成のための行為の制限に関する事項 (P28)

届出対象行為 / 届出対象規模

		全市域	景観形成重点地区
建築物	新築、増築など	高さ 13m以上または延べ面積 500 ㎡以上	全て
工作物	新設、増築など	高さ 13m以上	高さ 13m以上
その他の行為	土地の形質の変更など	—	（P30）参照

届出対象行為に係る景観形成基準

- 配置
- 高さ
- 形態・意匠
- 色彩・素材
- 緑化
- その他

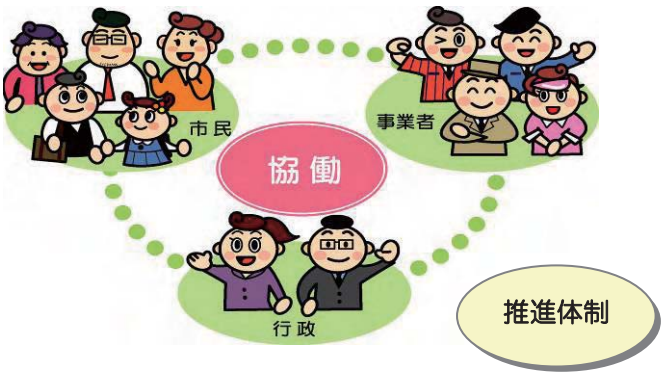
景観重要建造物・景観重要樹木の指定の方針 (P38)

- 景観重要建造物
- 景観重要樹木

景観重要公共施設の整備に関する事項 (P40)

- 道路
- 公園
- 河川

景観づくりを推進するために (P46)

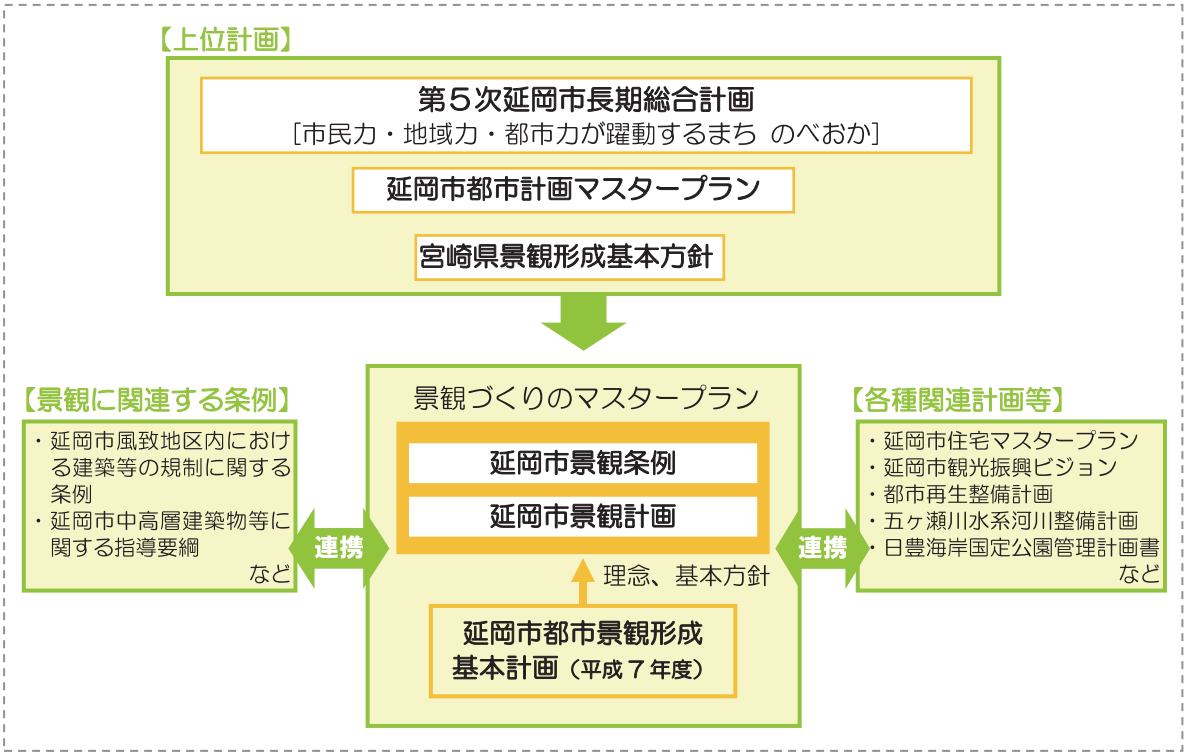


第３節　景観計画の位置づけ

良好なまちづくりを進めるにあたり、美しく魅力的な景観づくりは、必要な条件の一つです。

延岡市景観計画は、景観法第８条の「良好な景観の形成に関する計画」として定め、雄大な自然と歴史、産業が織り成す延岡らしい景観を“守り”“育み”“つくり”次世代に誇れる景観を引き継ぐために、目標や方針を達成するための取り組み、景観形成基準等を定めたマスタープランです。

今後は、本計画に基づき、本市の景観の特性を活かしつつ、更なる景観の魅力向上に資するような景観づくりを進めていきます。



▲延岡市の景観計画の位置づけ

第４節　延岡の景観の現状

１．本市の景観形成を取り巻く主な背景

（１）景観形成の取り組み経緯

延岡市では、平成７年３月に「延岡市都市景観条例」を制定し、平成８年４月に施行しています。この条例を踏まえて平成８年３月に都市景観条例の具体的な運用の方向性を示す「延岡市都市景観形成基本計画」を策定し、下記のように景観形成の取り組みを実施してきました。

しかしながら、策定から 10 年以上を経るなかで、少子高齢化や人口減少時代が到来し、社会を取り巻く潮流が大きく変わりました。また、人々の価値観も、量的充実から質的向上へと変化し、美しいまちなみなどの良好な景観に関する関心が高まってきました。こうした状況を受け、国による政策として、美しい国づくり政策大綱、観光立国行動計画、景観法の全面施行など、景観行政及び市民等との協働による景観づくりを担保する法律等が整備され、景観づくりを主体とした地域活性化の方針が打ち出されています。

このような中、本市は、旧延岡市と旧北方町、旧北浦町、旧北川町と合併し、合併以前よりも更に多くの景観資源を有することとなりました。また、高速道路の開通が予定されており、より魅力的な景観づくりを後押しする社会環境の変化が起こっています。これらの状況の変化を受け、本市は、平成２０年 ４ 月に景観行政団体に移行しました。景観法に則（のっと）った景観計画を策定し、より実効性の高い景観形成に取り組んでいきます。

年次	取り組み内容等
昭和 63 年度	都市景観形成モデル都市の指定を受ける
平成２年度	延岡市都市景観審議会の発足
平成６年度	**延岡市都市景観条例の制定**
平成７年度	**延岡市都市景観形成基本計画を策定**
平成８年度	**延岡市都市景観条例の施行**
平成９年度	都市景観のつどいの開催 延岡市都市景観賞・都市景観絵画コンクールを開始
平成 11 年度	**城山周辺地区、シンボルロード周辺地区を都市景観形成地区に指定**
平成 13 年度	延岡市公共標識基本計画を策定
平成 20 年度	**景観行政団体に移行**

▲　延岡市の景観形成の取り組み経緯

2．本市の景観の現状

市民アンケート、景観計画策定懇談会等における市民意向や、現地調査の結果を踏まえて、本市の景観の主な魅力、及び問題点・課題を以下のように整理しました。

（1）景観の魅力

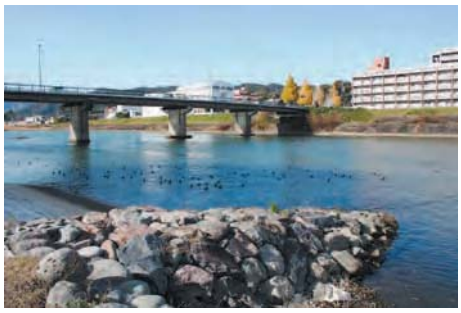
延岡らしさを醸成し、市民や来訪者の心象に残る、主な景観の魅力は以下の通りです。

●五ヶ瀬川・大瀬川等の複数の河川が流れるまちなかの景観

・三方を山々に囲まれ一方が海に開けたまちなかに、複数の河川が流れるといった「水郷のべおか」として特徴的なまちなか景観を呈しています。また、全国でも３箇所しか残っていない貴重な土木遺産である畳堤が五ヶ瀬川沿いに９８０メートルにわたって残っています。

まちなかを流れる複数の河川

大瀬大橋から見た大瀬川


亀井橋と五ヶ瀬川

大瀬橋と大瀬川

●まちなかにある工場の景観

・工業都市を象徴する大規模工場地や煙突が、まちなかのランドマークとなっています。

愛宕山から見た二本の煙突

長浜町の工場

旭町の工場

愛宕山から見た工場の夜景

●城山などの身近な歴史・文化的景観

・延岡城跡である城山は歴史を感じるまちなかのシンボルとして、鐘の音とともに市民に親しまれています。

・その城山周辺は、旧城下町としての歴史的雰囲気と落ち着きのあるたたずまいを呈しています。

城山の鐘

北大手門

内藤記念館の庭

天下一薪能

●清流、北川・祝子川・五ヶ瀬川・大瀬川などの河川の景観

・豊かな水量の河川が市域を貫流し、本市の景観軸となっています。

・初夏から晩秋にかけて、北川、祝子川、五ヶ瀬川、大瀬川沿いでは鮎漁を行なっている景観が見受けられます。

・宮崎の橋１０１選にも選ばれた干支大橋、綱ノ瀬橋梁、槇峰大橋、天馬大橋等、及び橋の日発祥の橋となっている安賀多橋など、清流と調和した美しい橋梁が延岡の河川景観の特徴の一つとなっています。

北川とそれに架かる橋

鹿川渓谷

干支大橋と早日渡橋

川水流に架かる鮎やな

●市街地に近接した長浜海岸や日豊海岸国定公園などの特徴的な海岸・海浜景観

・身近にある自然海浜の長浜海岸や、日豊海岸国定公園に指定されているリアス式海岸をはじめとした、美しい自然景観が特徴的です。

・落ち着いた雰囲気のある、昔ながらの面影を残す港町や漁村が残っています。

島野浦

鏡山から見た下阿蘇海水浴場

サンビーチすみえ

阿蘇港

●市街地を包み込む、祖母傾国定公園等の雄大な山紫水明の山地景観

・大崩山や比叡山、行縢山などをはじめとした山々が連なる雄大な山地景観を呈しています。

・祖母傾国定公園内の山々には、奇岩や岩肌が露出し特徴的な景観となっています。

大崩山

比叡山

行縢山

矢筈岳から見た北方町の山々

●周辺の山なみや河川と調和した美しい田園景観

・河川沿いにひろがる田園地帯、及びその背景となる山なみや点在する山すその集落地が相まって、牧歌的な景観となっています。

・手入れの行き届いた棚田や茶畑は、人々の心をなごませ、美しい景観を呈しています。

北浦町地下の茶畑

北川町黒内の棚田

北方町美々地の稲架掛け

行縢の田園風景

●河川・海沿いを走る国道や JR 日豊本線からの情緒ある車窓景観

・南北に通る国道 10 号や JR 日豊本線、東西に通る国道 218 号沿いに展開する河川や田園などの自然、及び市街地や工場などのまちなみが、特徴的な車窓景観となっています。

・国道 388 号は日豊海岸シーニック・バイウェイに指定され、美しい海岸が車窓から楽しめます。

国道３２６号

ＪＲ日豊本線から見た愛宕山

国道３８８号

若あゆ大橋から見た行縢山

●市民による自主的な景観づくり

・「延岡景観倶楽部」によるまち歩きやイベントの開催等のまちづくり活動、「北川やっちみろ会」による自然保護活動などをはじめとして、「ハマボウを鑑賞する会」「コンテナガーデン彩」などの花と緑によりまちを彩る緑化活動、「上崎ふるさとづくり推進協議会」における菜の花を植える活動、北方町における花のあるまちづくり活動等、市民による自主的な活動が景観づくりに寄与しています。

花のあるまちづくり活動

延岡景観倶楽部の活動

上崎ふるさとづくり推進協議会の活動

コンテナガーデン彩の活動

ハマボウを鑑賞する会の活動

■（2）景観の問題点

●周辺と調和しない建築物等の増加

・河川沿いのまちなみが川や橋からの眺めに配慮されておらず、美しい河川景観と調和していない建築物等が見受けられます。
・美しい海岸を阻害するそれらと不調和な色彩・規模の建築物等が見受けられます。
・北川、祝子川、五ヶ瀬川、大瀬川等の河川沿いを中心にひろがる良好な田園景観を阻害するそれらと不調和な色彩・規模の建物や、ミニ開発等が見受けられます。
・本市を代表する視点場である愛宕山、城山、今山などからの眺望において、派手な色彩の屋根などが見受けられます。
・良好なやまなみ景観を一部阻害している採石場や携帯電話の電波塔などが見受けられます。
・周辺のまちなみと調和していない大規模工場の大壁面等が見受けられます。
・国道１０号や国道２１８号、国道３８８号などをはじめとした、本市の骨格となる幹線道路沿いに、周辺のまちなみや自然と不調和な色彩・規模の建物、および建設プラント等が見受けられます。

●まちなかのにぎわい感の減少

・市民意見において、「中心市街地の通りや商店街など街の賑わいが感じられない」という指摘があります。

●まちなかの緑の減少

・市民意見において、「緑あふれるまち」が良い景観として最も多くあげられている一方で、「市街地に緑が少ない」という指摘があります。

●城下町の風情など延岡らしさの核となる歴史・文化的景観資源の減少

・生活文化の変化や近代化に伴って、旧城下町の風情や市内に点在する身近な歴史・文化的景観資源が失われつつあります。
・また、高層マンションの建設が市内随所で進んでおり、今後の開発によって、市民のシンボルである城山への眺望も阻害される恐れがあります。

●公共施設のデザインが統一されていない

・市民意見では、橋や街灯などのデザインに統一感がなく、連続性と風格が感じられないという指摘があります。

●景観に対する意識の醸成が十分でない

・市民による自主的な景観づくりが既に進められていますが、景観に対する市民の意識は未だ十分ではなく、市民協働の意識啓発も不足しており、一部の活動に留まっているとの指摘があります。

（3）景観の課題

本市における景観の課題を、まちなみ、歴史・文化、自然、協働、公共施設の観点でまとめると、以下のようになります。

●まちなみ

・河川からの眺めに配慮した建物等の景観誘導による、五ヶ瀬川、大瀬川の雄大な河川景観と調和したまちなか景観づくりが必要です。

・街路や店先、庭先などの積極的な緑化等による、潤いのある緑豊かなまちなか景観づくりが必要です。

・建物等の色彩・意匠の誘導やライトアップの工夫等による、中心市街地にふさわしい、まとまりとにぎわいのある、景観づくりが必要です。

・敷地境界の緑化や工場施設の色彩・形態の工夫等による、周辺市街地と調和した潤いと落着きのある大規模工場地の景観づくりが必要です。

・周辺のまちなみや背景となる山なみの景観と調和した建物への景観誘導等による、今後の本市の観光振興を見据えた、市の玄関口として、また市の景観の骨格軸に相応しい魅力ある沿道景観づくりが必要です。

●歴史・文化

・重要な景観資源を保全する仕組みや、建物等の高さ規制による眺望の確保等による、延岡らしい景観づくりの核となる歴史・文化的景観資源の保全・活用が必要です。

●自然

・日豊海岸国定公園をはじめとした海沿いの美しい自然景観と調和した建物への景観誘導等による、美しい海岸・海浜景観の保全が必要です。

・周辺の自然景観と調和した建物への景観誘導等による、田園・河川景観の保全が必要です。

・祖母傾国定公園をはじめとした内陸部の美しい自然景観と調和した建物等への景観誘導等による、良好な山地景観の保全が必要です。

●協働

・市民の景観への意識啓発や、市民の自主的な景観づくりへの支援策の充実により、今後はこの動きを全市的な動きに拡大していくことが必要です。

●公共施設

・一貫したデザインコンセプトに基づく橋や道路施設のデザイン誘導等、公共施設の高質化による、連続感と風格のある、本市の良好な景観づくりを牽引する手本となるような公共施設の景観づくりが必要です。